

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/05/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

70ドル台後半で揉み合う展開に

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半で揉み合う展開になった。マーケットの関心が中東地政学リスクから原油需給環境にシフトする中、底固く推移した。ドライブシーズンの需給引き締めりに対する信頼感が強く、安値は買い拾われている。米原油在庫が2週連続で減少したこと、ウクライナがロシア石油施設に対する攻撃を続けていることもポジティブ。ただし、依然として上げ一服後の持高調整のニーズも強く、明確な方向性は打ち出せなかった。

5月25～27日がメモリアルデーの連休になるが、全米自動車協会（AAA）は今年の自動車旅行者数は前年を4.0%上回る3,840万人に達するとの見通しを示した。パンデミック前の2019年と比較しても1.9%増が見込まれている。これは2000年の調査開始以降で最高になる。このため、ドライブシーズン中のガソリン消費環境は良好との楽観的な見方が原油相場を支援した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月10日時点）は、原油が前週251万バレル減、ガソリンが24万バレル減、石油精製品が5万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給の引き締まりで底固い、80ドル台での取引時間を増やす

需給の引き締まり観測を背景に、底固い展開が想定される。5月21日が6月限の取引最終日とあって週前半は値動きが不安定化する可能性があるが、7月限は80ドル台乗せを打診する展開になろう。

中東では、イスラエルとハマスの休戦協議が決裂し、イスラエルはガザ地区南部ラファでの攻勢を強めている。しかし、原油市場の中東情勢に対する関心は薄れており、今後も原油相場に対する影響は限定されよう。注意が必要なのはウクライナ軍がロシア製油所に対する攻撃を繰り返していることであり、製油所の稼働トラブルの報告が増えると、供給リスクが織り込まれる可能性がある。

一方、こうした地政学環境を考慮に入れなくても、原油相場は底固い展開が想定される。今後はドライブシーズンの需要期に突入するが、需給引き締まりに対する信頼感が強い。ガソリン価格は需要を抑制する程に高くなく、穏やかな天候となればガソリン消費は季節トレンドに沿う形で拡大しよう。特に5月22日発表の米週間需給統計で、原油やガソリン在庫の取り崩しが報告されると、買い安心感が強まりやすい。

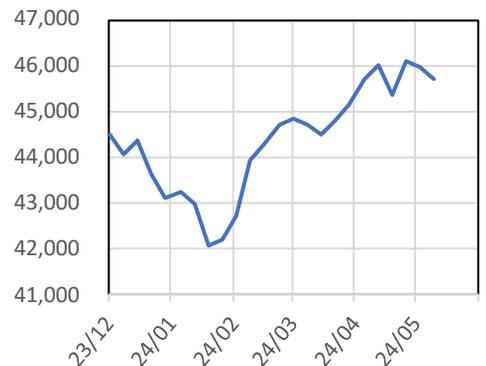
一方、6月1日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合を控えて、産油国の動向にも注目したい。イラク石油相がOPECプラスの自主減産延長に同意しないと発言していたが、その後は減産にコミットしていると発言を修正したこともあり、マーケットは冷静に消化した。ただし、7月以降もOPECプラスが減産を継続するか否かは需給見通しに与える影響も大きいだけに、新たな動きがみられると原油相場も大きく変動する可能性がある。現状では、OPECプラスの減産延長がメインシナリオになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

